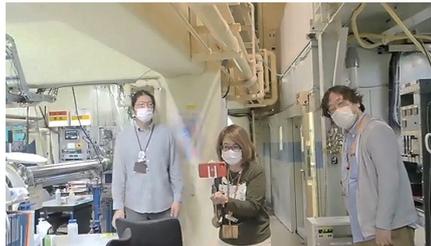


第5回リカジョ育成賞 -奨励賞-

テーマ	TYL スクール：理系女子キャンプ 2021
受賞者名	大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構

活動紹介	<p>本企画は日本の女性研究者のさきがけの1人である湯浅年子氏にちなんで日本とフランスのバーチャルラボ(Yuasa Toshiko Lab.)の活動の一環として、2012年より毎年実施している、理系に興味を持つ女子が同じ興味を持つ友達を見つけ、理系の大学の学部での勉強、大学院での研究に具体的なイメージが持てるようなプログラムになるよう工夫し、また、女性研究者が多く活躍する海外から講師を招き、世界にも目を向けるきっかけを提供しています。</p> <p>KEKに全国から30名の女子高校生を受入れ、参加者相互の交流、大学院生との交流会、レクチャー、実験施設見学等を行ってきた。2020年からは新型コロナ禍により、現地(KEK)開催が難しくなり、2020年は完全オンラインであったが、2021年には実際に理科好きな仲間と出会う体験を大事にするために、お茶の水女子大学、奈良女子大学、東北大学の三大学をサテライト会場として10人未満の学生を集め、密を避けながら、KEKとはオンラインでつなぎ、女子高校生同士の相互交流、大学院生との交流・意見交換などを実現することとし、2021年4月2日(金)に開催した。</p> <p>残念ながら、東北大学では感染急拡大によって直前で完全オンライン開催となってしまったが、お茶の水女子大学、奈良女子大学では実際に交流を行い、大学の施設見学も実施した。</p> <p>KEKは物理学の研究機関であるが、対象が高校生であることから、あえて講演内容は物理に限らず、化学、宇宙などの講演、異なる世代、分野の大学院生との交流を設定するなど、分野横断的な企画としている。</p> <p>サテライト会場では、女子大学院生と対面して自由討論ができる場を設け、大学の施設見学も取り入れるなどの工夫をして、2会場に14名、オンラインで33名の参加があった。</p>
PRメッセージ	<p>参加者はもともと理系に対する興味が高いからこそ参加している面はあるが、当日のアンケート結果からは、非常に良い刺激を受けた、将来の進路決定に参考になったなどの感想が多く好評である。</p> <p>2022年度は、感染対策を施したうえで現地(KEK)に集まり4/3~4/4に開催した。2023年度以降も、さらに工夫を加えたうえで継続して取り組んでいきたいと考えている。</p>

 <p>全国からオンライン接続 +サテライトでの出会い</p>	 <p>参加者スクリーンショット</p>
 <p>イザベル博士ビデオレター (TYL フランス側代表)</p>	 <p>PF バーチャルツアー時の様子</p>